

チャレンジボックス

チャレンジボックス取扱説明書 居住者用

もくじ

はじめに	2	基本操作	4
チャレンジボックスとは	2	荷物を受け取る	4
暗証番号について	2	ロッカーの設定を行う	5
お使いになる前に	2	一時利用停止	5
チャレンジボックスは使えますか?	2	一時利用停止解除	5
各部の名前とはたらき	3	使用上の注意	6
操作部	3	警告	6
ボックス部	3	注意	7

はじめに

チャレンジボックスとは

チャレンジボックスとは居住者のみなさまがご不在の時に配達された荷物をお預かりし、好きなときにお取り出しいただける宅配ロッカーです。

暗証番号について

ロッカーを使用するには開錠用の暗証番号が必要です。ロッカーを使用する前に、暗証番号をご確認ください。

- 暗証番号の登録、変更、削除は**ロッカー管理者**が行います。
- 暗証番号を忘れてしまった場合や、お住まいを退去する場合は、すみやかに**ロッカー管理者**まで連絡してください。

お使いになる前に

チャレンジボックスは使えますか？

入居時の資料または管理者から通知された暗証番号が利用可能かどうかを確認します。荷物を受け取る操作（4ページ）を行い「お預かりしている荷物はありません」と表示されると利用可能です。

※荷物がすでに届いている場合は扉が開きます。

- 利用できない場合や暗証番号が不明の際は、管理者へお問い合わせください。

各部の名前とはたらき

機種および仕様により、操作・表示が異なる場合があります。

操作部



① 操作案内画面

操作案内を行う画面です。

② 操作パネル

画面の操作はタッチパネルで行います。ランプが点灯しているボタンのみタッチして操作することができます。案内画面ごとに操作できるボタンが切り替わります。

※待機画面では [START] が表示されています。

③ 伝票捺印機

ロッカーに荷物を預け入れた際の受領印です。カバーを開けて、受領印に紙を押し当てます。

ボックス部



ボックス内寸サイズ

サイズ	幅 × 奥行 × 高さ [mm]
S	W385 × D474 × H218
M	W385 × D474 × H376

※すべての構成ではありません。

基本操作 (居住者のみなさまへ)

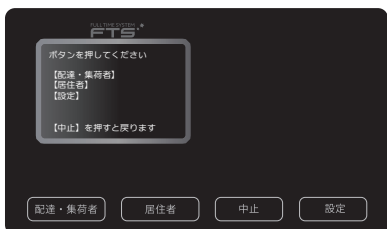
荷物を受け取る

スタート画面



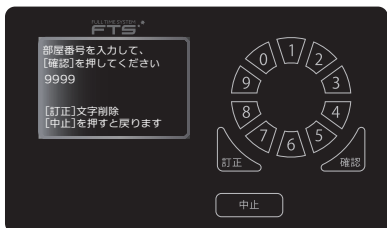
操作を始める場合は[START]を選択する。

STEP1



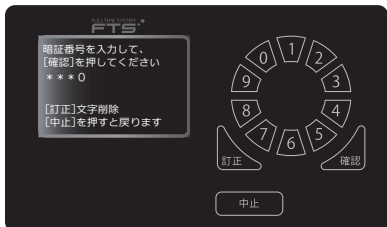
[居住者] を選択する。

STEP2



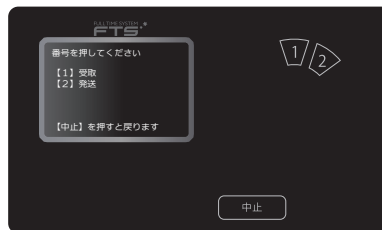
部屋番号を入力して、
[確認] を選択する。

STEP3



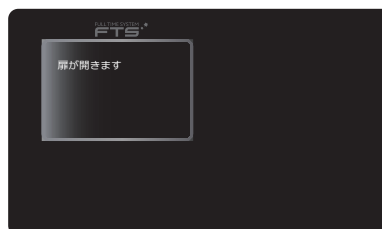
暗証番号を入力して [確認]
を選択する。

STEP4



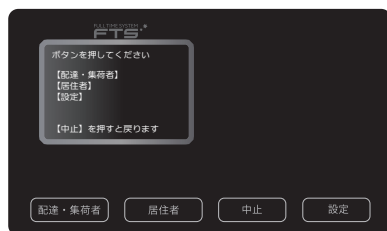
[【1】 受取] を選択する。
※この画面は表示されない
場合があります。

STEP5



荷物がある場合は扉が自動的
に開く。
荷物を取り出して扉をしっか
り閉める。荷物がない場合
は「お預かりしている荷物は
ありません」と表示される。

ロッカーの設定を行う

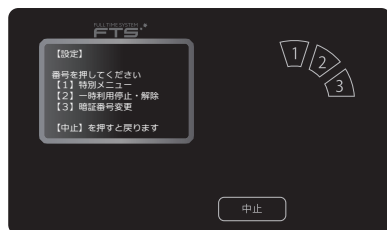


[設定] を選択後、設定を行うことができます。

一時利用停止

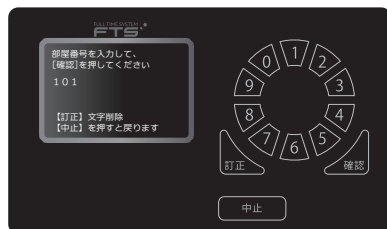
宅配便を直接自宅で受け取りたい場合、長期のご不在時などに荷物がロッカーに預け入れされないように設定ができます。

STEP1



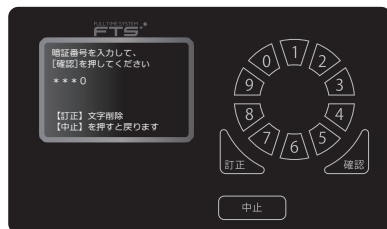
[【2】一時利用停止・解除] を選択する。

STEP2



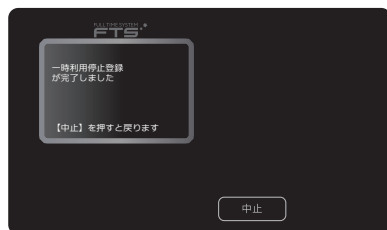
部屋番号を入力して [確認] を選択する。

STEP3



暗証番号を入力して [確認] を選択する。

STEP4

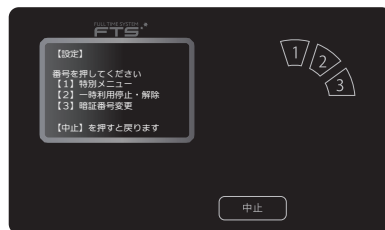


一時利用停止の登録が完了。

一時利用停止解除

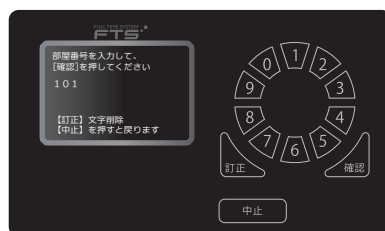
一時利用停止を登録していた場合で、荷物をロッカーで受け取りたい時にその登録を解除して、ロッカーに預け入れされるように設定ができます。

STEP1



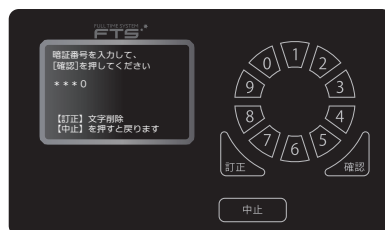
[【2】一時利用停止・解除] を選択する。

STEP2



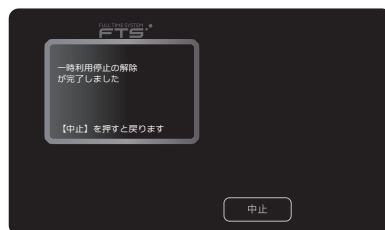
部屋番号を入力して [確認] を選択する。

STEP3



暗証番号を入力して [確認] を選択する。


STEP4




一時利用停止の登録が完了。

使用上の注意

- ご使用の前に必ず取扱説明書（本書）をお読みにになり、正しくお使いください。
- ロッカーや機器類にはシールを貼ったり、落書きをしたり、傷をつけたりしないようにしてください。故障の原因となる場合があります。また、美観も損なわれます。
- 本書に記載されたロッカーや機器以外の取扱いについては、必ずご使用になる機器等の説明書をお読みください。
- 本書で説明している画面表示・説明図等は取扱説明書のために作図したものです。お使いの機種やシステムによっては異なる場合があります。
- メンテナンス時や修理時、停電時や点検時などはロッカーに格納された荷物や郵便物が取り出せない場合がありますのでご注意ください。
- 付着した汚れは柔らかい布、スポンジタワシなどで洗浄してください。研磨剤の入ったスポンジは絶対に使用しないでください。水または薄めた中性洗剤を使用し、表面に洗剤が残った場合は、水できれいに除去してください。強アルカリ性洗剤、強酸性洗剤またはシンナー、トルエン等、有機溶剤のご使用は避けてください。
- 使用者の責任でプライバシーなどを考慮のうえ、ご利用ください。
- ネットワーク機器やインターネットサービスの障害など、当社の責任によらない原因により本サービスの提供やお問い合わせ行為とその回答が遅延したり、不能となった場合、あるいは通信手段に誤り・脱落などが発生した場合、その損害については当社は一切の責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- インターネットの通信経路において盗聴・不正アクセスなどがなされたことにより使用者の暗証番号・送信情報・記録情報などが漏洩した場合、そのために生じた損害については当社は一切の責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- 温度、湿度は動作範囲内の場所に設置はしていますが、天災等、何らかの要因でその範囲を超えた場合は動作に支障が起こる場合があります。また、入庫された荷物が濡れた場合の損害については当社は一切の責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- 本書はお読みにになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。
- 本書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りします。
- 製品、機器の外観・仕様・性能は予告なく変更する場合がありますので、ご承知ください。
- 本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

 操作を行うにあたって注意していただきたい内容を記載しています。

 操作を行うにあたって禁止していただきたい内容を記載しています。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⊘ 開く扉に注意をする

自動的に開く扉で頭や顔などの身体部分をぶつけないように扉から70cm以上離れてください。他の人が操作しているときも扉から70cm以上離れてください。怪我の原因になります。

⊘ 開いている扉に注意をする

既に開いている扉に頭や顔などの身体部分をぶつけないようにしてください。怪我の原因になります。取り出した荷物を持ち直すときや、複数の扉が開いているときは特に注意をしてください。

⊘ ボックス内部に入らない

ボックスに閉じ込められたり、重量によって故障したりします。お子様など、誰かがこのような行為をしていたら、注意をしてください。

⚠ 手をはさまれないように注意をする

扉を閉めるときは手をはさまないようにしてください。怪我の原因になります。また衣服や手荷物、取り出した荷物などをはさまないようにしてください。破損等の原因になります。また、伝票捺印のためのスタンプーにも手をはさまないようにしてください。怪我の原因になります。

- ❌ **ロッカー本体にぶらさがらない。**
転倒・怪我、故障の原因になります。
- ❌ **操作部の扉を開いたときに指定部分以外はさわらない。**
操作部内の基盤や部品、コード類をさわると、故障の原因となったり、火災、感電、怪我の原因にもなります。
- ❌ **生ものや危険物などの入庫をしない。**
生鮮品や腐敗変質しやすいもの、動物などを入れないでください。また、発火・引火・爆発物のおそれのある危険物や劇薬物は入れないでください。
- ❌ **隙間に物を挟まない。**
ロッカーや機器に金属類や燃えやすいものを差し込んだりしないでください。
- ❌ **ロッカーや機器を分解・改造しない。**
火災、感電、怪我の原因になります。
- ❌ **屋内設置のロッカーや機器に液体（水、ジュース、薬品など）や塩を入れたり、ぬらさない。**
万一、入った場合は、管理者に連絡をしてください。火災、感電、故障の原因になります。
- ❌ **電源プラグやコードを正しく使う。**
次の場合は使用を中止し、管理者に連絡をしてください。
 - ・傷んで中の線が露出している。
 - ・コンセントに緩みがある。 故障、感電、漏電、火災の原因になります。
- ❌ **電源プラグやコードについて下記のことはいししない。**
 - ・物でコードを挟まない（断線の理由）
 - ・コードを束ねない、ねじらない、無理に曲げない
 - ・ぬれた手でプラグを抜き差ししない・電源コードを持って抜かない
- ⚠️ **煙・異臭・異音が出たり、何らかの原因で転倒したときは、すぐに管理者へ連絡をする。**
火災や感電、怪我の原因になります。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- ❌ **扉にぶらさがらない。**
ぶらさがったり、引っ張ったり、90度以上無理やり開かないでください。また開いた扉に足をかけたり、物をぶらさげたりしないでください。故障・怪我の原因になります。
- ⚠️ **荷物の取り出しに注意。**
荷物を取り出すときに足などの身体に落としたり、ぶついたりしないようにしてください。複雑な梱包や梱包バンドなどを扉や凹凸部に引っ掛けないようにしてください。怪我の原因になります。
- ❌ **荷物を無理やり入れない。**
ボックスのサイズを超える大きな荷物を押し込んで入れることは扉が壊れる原因になります。絶対に行わないでください。
- ❌ **ロッカーや機器の上に物を置いたり、布などで覆わない。**
火災、故障の原因になります。
- ❌ **ロッカーや機器はボールペンなどの鋭利なものを当てたり、傷つけたりしない。**
ロッカーや機器が破損し、故障やけがの原因になります。また美観が損なわれます。
- ❌ **ロッカーや機器を強く押したり、衝撃を与えない。**
破損・転倒するとけがの原因になります。
- ❌ **ロッカーや機器が故障の場合は触れないでください。**
故障の場合、または調整中はロッカーや機器にふれないでください。怪我や感電の原因となります。
- ❌ **係員が点検・修理作業中は近づかないでください。**
怪我や感電の原因となります。特にお子さまは近づけないようにしてください。

●設計上の標準使用期間（10年）

- ①本製品の「設計上の標準使用期間」は10年となっています。
- ②「設計上の標準使用期間」とは、設置環境や利用時間など、標準的な使用条件の下でご使用いただいた場合に、安全上支障なくご使用いただける標準的な期間です。
- ③この期間に故障が発生しないことを保証するものではありませんので、適切な保守や修理、日常点検の実施により安全にご使用いただくことが可能となります。
- ④標準使用期間を経過した場合は、機器の入替、又は劣化部品の交換が必要となりますので、弊社よりご提案させていただきます。

●保守用部品の保有期間（10年）

本製品の保守用部品（製品の機能を維持するための部品）は、同型機種_の製造停止後10年間保有いたします。

●収納物の補償

本製品の故障等による、収納物の変色・変質・腐敗等による補償は責任の範囲外とさせていただきます。

●定期交換部品

本製品には定期交換部品がございます。安全にご使用いただくためには適切な交換時期に交換されることを推奨いたします。

※ロッカーの最新使用約款はこちらをご覧ください。URL：<https://yakkan.fulltimelocker.co.jp/>

※記載の形状および仕様は予告なしに変更される場合があります。 ※この取扱説明書は大切に保管してください。

株式会社フルタイムシステム

(2024年9月現在)

V1TS
9999G230622B
2409-CC-----